

2024年度 市民クラブ 活動報告

私たち
市民クラブの
活動はコチラ▶



2月29日

天竜エコテラス

4月に稼働開始の天竜清掃工場・環境学習施設「天竜エコテラス」を訪問。地元産の木材を活用した施設。再生可能エネルギーの仕組みやリサイクルについての展示や、家族・団体向けのワークショップも充実しており、市民に環境学習として活用してもらいながら、環境問題を身近に感じてもらえる場となっています。



新役員決定

3月7日

代表質問
岩田 邦泰



3月11日

一般質問
花井 洋介



7月3日~7月5日

北海道視察について

札幌市

札幌市の水素普及に向けた取組み

道内の再生エネルギー等を利用して作られた水素を札幌市で供給する「水素サプライチェーン」により、官民連携で供給体制の整備に向け検討。北海道と連携して水素ステーション整備補助制度を創設。FCV(燃料電池車)普及のため、市で率先導入。本市は2025年CN(カーボンニュートラル)達成を宣言しているが、水素による取組みは十分とは言えない状況。水素の利活用を含めCN達成に向けた取組みを提案していきます。



札幌市

社会福祉法人 麦の子会

児童発達支援センター/多機能型(発達支援+放課後等デイ)/学習棟/地域生活支援事業(保育園/介護事業/ショートステイ/相談室/発達クリニック)/障がい者生活介護事業など地下鉄1駅、1キロ圏内に施設が集中しており、一つの街を形成している。「共に生きる」というスタンスで子どもへの支援だけではなく、家族への支援を充実。家族への支援拡充についての提言も検討していきます。



北広島市

北広島市の大型スポーツ施設整備

スポーツを核とした地域づくりが、全国的にも拡大する中、代表格である北広島市エスコンフィールドを視察。新駅の設定、大学の移転など今後も広がる街づくりに注視が必要。浜松の多目的スタジアム、公園を核とした街づくりに活かしたいです。



旭川市

旭山動物園の「ゼロカーボンZOO」

各庁舎毎の使用量を把握することから始める。旭川市は内陸部であり風力は適していない。地域の学生との取組みで循環型農園を始める。特別な事ではなく職員一人ひとりの取組みの積み重ね。旭川市の顔である動物園としてCN(カーボンニュートラル)に対する意識の高さが伺えた。CNに対する取組みはそれぞれの立場である事を本市の取組みとしても広めていきたいです。



第1回定例会

第3回定例会

第4回定例会

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

第2回定例会



2月3日

※ウェルビーイング勉強会

ウェルビーイング指標活用WS(ワークショップ)を開催。2つのグループに分かれての、政策領域の決定、それらのあるべき姿の決定、どのように政策目標を達成するか政策立案といった流れを体験しました。

※ウェルビーイングとは…身体的・精神的・社会的に健康であり、幸福度・満足度が高い状態のこと。

5月21日

春野ポーク視察

春野の自然の中で育てられている3,000頭の豚。畜産業もコストの高騰など課題山積とのこと。将来は自国での起業を目指す外国人を積極的に受け入れ、技術伝授と共に労働力の確保をして経営の合理化を進めています。



6月4日

代表質問
北野谷 富子



6月5日

一般質問
大城 七瀬



8月26日

市民とともに考える
浜松市議会

9月25日

代表質問
岩田 邦泰



9月26日

一般質問
斉藤 清明



決算特別委員会

10月16日

市政運営
政策提言書
提出

10月31日

浦川小視察

今年度いっぱい閉校が決まっている天竜区の浦川にある浦川小学校に行って話を伺ってきた。昭和30年代には906名いた児童も今では8名となり、来年度から佐久間小学校に通うことに。浦川歌舞伎や川百合の舞などの歴史や文化を大切にしていた地区だっただけに大変残念。また、今後も子どもや地域の方たちのためにも新しい取り組みも考えていかなければと感じました。



12月6日

代表質問
鈴木 真人



12月9日

一般質問
花井 洋介



3月7日

一般質問
石津 陽子

登壇
予定

会派として意見書を提出しました!!

9月定例会にて「教職員の人材確保及び学校の働き方改革に向けた業務適正化の推進を求める意見書」が可決されました。これは子どものゆたかな学びの実現にむけて、教職員の定数改善を進めること、学校における働き方改革のさらなる加速化を求めたものです。

北野谷 富子



鈴木 真人



岩田 邦泰



斉藤 清明



大城 七瀬



花井 洋介



石津 陽子



日々の活動を発信中!

